



# 議員定数削減せず

## ～報酬も変わらず～



1月22日に開催された特別委員会

「議員の定数問題の結論を次期統一地方選挙までに間に合わせるべく、早急にとめることを求める請願」が町民から出されました。9月定例会で設置された議員定数と議員報酬を検討する調査特別委員会では、前記請願を審議し、「十分な調査が必要である」「4月の町議会選挙までに間に合わせることは現職議員の責務である」など、様々な意見が各議員からあり、その後、採決の結果、採択すべきものと決定しました。そこで、委員会では、「議員定数の決定期限は1月いっぱい妥当」とする提案が議員から示され、全会一致で決定しました。

これを受けて、1月22日に委員会を開催し、議員定数、並びに議員報酬について審議しました。議員定数削減については賛成8名反対8名と同数となったため、委員長の裁決により削減しないこと、また、議員報酬の削減については賛成少数で削減しないことと決定しました。

なお、特別委員会で結論が示されたことで、次回の3月定例会で同委員会は解散となる予定です。

### 《三三解説》

**【特別委員会】**  
特定の事からを審査するために設置された委員会。

**【議員の報酬額】**

議長	月額	420,000円
副議長	月額	360,000円
議員	月額	340,000円

	議員名 (上段は会派…正式な会派名は8ページ)															
	自		公		至		住	改	自ク	清	緑	瑞	溪	樹	共	
	小山	尾作	青山	福島	小川	吉岡	森	谷	近藤	竹嶋	島	上野	小池	高橋	樹	大坪
議員定数削減	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×
議員報酬削減	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	×

委員長 木原武雄 副委員長 青山 晋



# 町職員の給料等を引き下げ

平成18年第4回定例会は12月6日から19日まで、会期14日間で開催されました。今回の定例会では、瑞穂町副町長の定数を定める条例、職員給与など、合わせて14件の町長提出議案を審議しました。

人事院及び東京都人事委員会の勧告に基づき、町職員の給料、扶養手当のうちの配偶者支給額の引き下げ、地域手当の基本給1%分の増額案が提示され、賛成多数で可決しました。

各議員の賛否は7ページに記載

### 議員からの質疑 (抜粋)

- Q** 職員の給与が下がる一方で、特別職である町長、助役などは地域手当分だけ増えるのでは。
- A** 特別職の給料は据え置くため、地域手当が増える。
- Q** 町の特別職報酬等審議会《解説》で地域手当についての資料は提示したのか。
- A** 提示はしていないが、口頭で説明している。

### 《三三解説》

**【特別職報酬等審議会】**  
町長の諮問に応じ、議員報酬の額や特別職の給料等の額について審議する。町の有識者により構成。なお、11月12日に答申を出した。

## 補正予算を可決

一般会計予算を5,986万5,000円減額し、また、5つの特別会計総額100万9,000円を減額する補正予算を可決しました。

### 補正予算の主な内容

- ・スカイホール時計塔、およびホール内の時計改修



スカイホール時計塔